



研究所だより

岩城 由紀子

昨年、労協グループ（労協連、センター事業団、協同総研、社会連帯機構）は労協法施行までの1年間を「記念YEAR」と位置付け、新たな仲間づくりに向かおうと、ロゴの策定やイベントの周知活動などに取り組んできました。そして、ついに10月1日を迎えようとしています。

協同総研としてもこの1年間は、「労協法施行年！！市民が協同労働を活用する時代へ」というテーマで『協同の発見』誌の特集を3回組み、協同労働を実践しようとしている人や労協連に加盟した団体について誌面でご紹介しました。一方で、よい仕事集会や協同労働実践全国集会など、ワーカーズコープの実践にも焦点を当てて特集を組みました。

発刊した『協同ではたらくガイドブック』は、多くの市民とつながるきっかけとなり、「ワーカーズコープを知りたい・つくりたい・働きたい」という関心を持つ方と出会うことになりました。こうして知り合った方の中には、すでにワーカーズコープの仲間になった方や、仲間とともに定款の作成

を進め労協法人化を目指す方もいます。また、ガイドブック購入者から、意見反映や民主的運営についてもっと詳しく知りたいという声があり、続編の制作についても検討しています。

8月後半からは、各地で労協法施行に伴い広く市民に向けて学習会やフォーラム、映画上映会などが盛んに行われるようになり、会員のみなさまにもメーリングリストを通じて継続的にご案内をしてきました。実際にいくつかのイベントに参加してみると、市民が積極的に質問や意見を述べている場面があり、協同労働への期待や共感の声に触れることになりました。

10月以降も各地でさまざまなイベントが予定されており、オンラインで行われるものも多くあるので、ぜひご参加ください。



このマークによってイベントが記念YEARに位置づいていることがわかる

各地で行われるイベント情報はこちら



労協連HPより 法施行までの日数がカウントダウン形式で表示されている